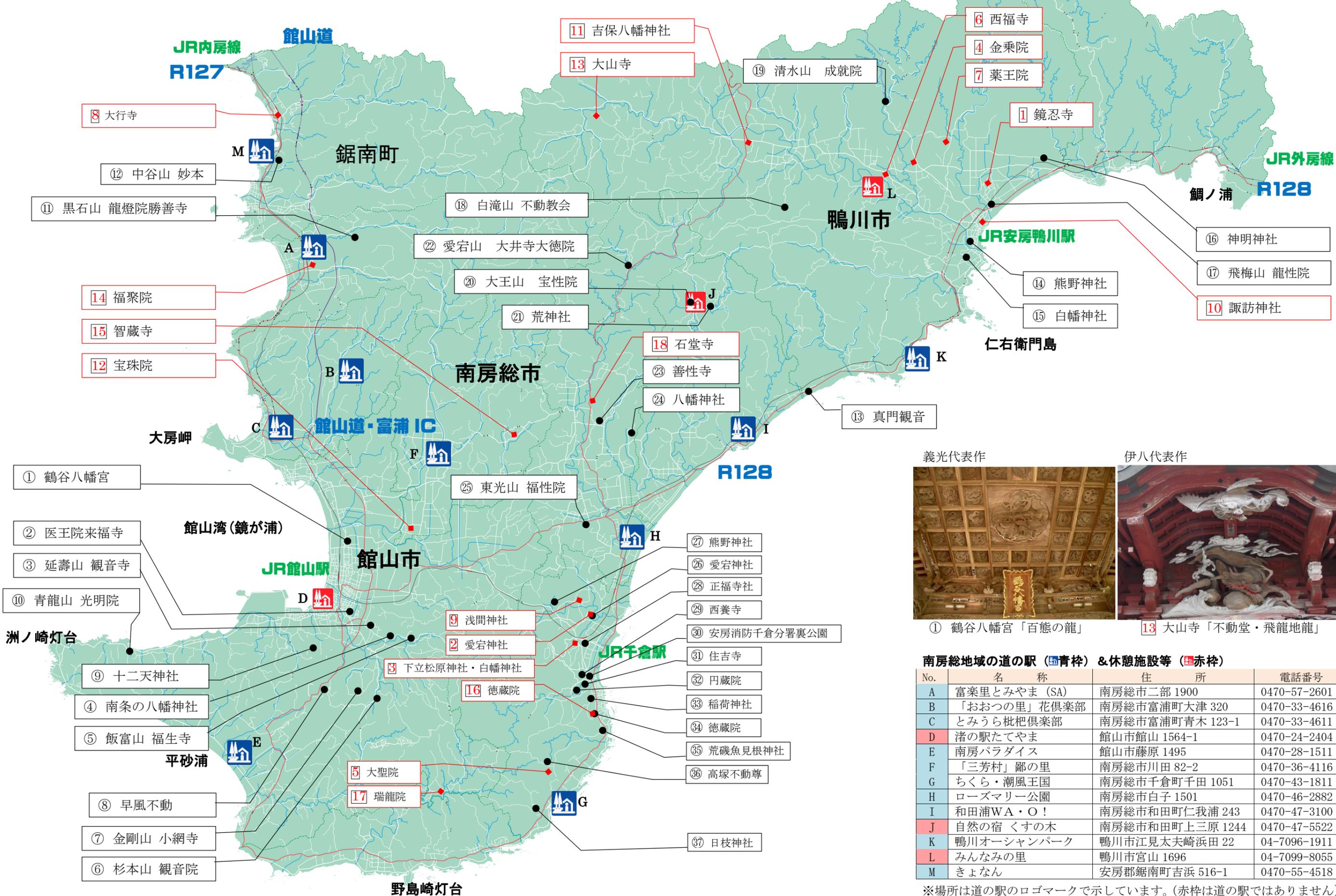


南房総地域「後藤利兵衛橘義光・武志伊八郎信由」作品一覧



義光代表作



① 鶴谷八幡宮「百態の龍」

伊八代表作



⑬ 大山寺「不動堂・飛龍地龍」

後藤利兵衛橋義光作品

No	社寺名称	作品	住所	制作年(年齢)
①	鶴谷八幡宮	・拝殿向拝の格天井「百態の龍」 <div>・木鼻の獅子、獏</div>	館山市八幡 76	
②	医王院 来福寺	境内に初代義光の門人、友人が「米寿」を祝って建てた「後藤義光扇寿蔵碑」がある	館山市長須賀 46	
③	延壽山 観音寺	・向拝竜	館山市南条 21	1894（80）
④	南条の八幡神社	・境内にある石造の常明灯と狛犬	館山市南条 515	1893（79）
⑤	飯富山 福生寺	・山門（回脚間）の木鼻獅子 <div>この間の欄間の2面に松、竹、梅、鶴</div>	館山市古茂口 367	1895（81）
⑥	杉本山 観音院	・観音堂向拝龍 <div>・木鼻に獅子、獏・海老虹梁・肘木に波に亀、松に鷹・手挟みに松、山鶴と鶴・桁隠しは雁にツバメ・御堂の外陣欄間の飛天の透かし彫</div>	館山市西長田 372	1901（87） <div>1892（78）</div>
⑦	金剛山 小網寺	・本堂向拝親子龍・肘木の箆彫の亀、鯉・木鼻の獅子、獏・桁隠の飛龍・手挟みの鳳凰、麒麟・正面欄間の松に鳥、右側欄間の牡丹に獅子	館山市出野尾 859	1892（78）
⑧	早風不動	・本堂向拝龍	館山市岡田 387-1	1892（78）
⑨	十二天神社	・向拝虹梁の龍・海老虹梁の若葉彫	館山市沼 443	
⑩	青龍山 光明院	・向拝龍・木鼻獅子、獏・肘木箆彫の波に亀・牡丹の手挟み	館山市波佐間 599	1868（54）
⑪	黒石山 龍燈院 勝善寺	・向拝、正面中央に波に龍、左右に阿吽の虎・木鼻、巻き毛に牙・足・火炎をもつ獏・四態の手挟み、左右一対の蓮、左右一対の龍	南房総市二部 1344	1902（88）
⑫	中谷山 妙本寺	・客殿向拝龍・墓股の龍	鋸南町吉浜 453-1	1863（49）
⑬	真門観音	・獅子	鴨川市江見西真門 157	
⑭	白幡神社	・向拝正面の彫刻	鴨川市貝渚 3102	
⑮	熊野神社	・拝殿向拝龍	鴨川市横渚 554	
⑯	飛梅山 龍性院	・本堂向拝上段の龍 <div>・客殿　木鼻の獅子・龍彫の鯉に波の肘木</div>	鴨川市広場 883-1	1868（54） <div>1863（48）</div>
⑰	神明神社	・向拝彫刻　波の中に羽根を広げた鶴	鴨川市東町	
⑱	清水山 成就院	・本堂向拝の龍 <div>・「清龍様」の彫刻　松と鷹に小鳥</div>	鴨川市太田学 883	※伊八作 <div>1873（70）</div>
⑲	白滝山 不動教会	・向拝の龍 <div>・本堂正面の懸魚の鳳凰</div>	鴨川市上小原 477	1884（70）
⑳	大王山 宝性院	・境内のお堂の向拝の獅子・虹梁の若葉彫	南房総市和田町上三原 1426	
㉑	荒神社（こうじんじゃ）	・向拝竜、向拝柱の獅子、獏・肘木の亀・虹梁の波に千鳥・手挟みの松と竹に鶴・左脇障子の牡丹に獅子・右脇障子の松間の滝に獅子・屋根左右の懸魚・社号額の波に宝珠と龍2匹 <div>※拝殿左右柱の龍は 2 代目紋治郎義光の作社殿全体の彫刻は初代義光と息子紋治郎の共同作業と思われる</div>	南房総市和田町礎森 92 <div>※礎森（するすもり）</div>	
㉒	愛宕山 大井寺大徳院	・地藏堂の石造地藏菩薩像	南房総市大井 220	1872（58）
㉓	善性寺	・大黒堂の大黒天	南房総市珠師谷 526	1889（75）
㉔	八幡神社	・拝殿向拝の獅子、左右柱の獅子	南房総市小戸 382	
㉕	東光山 福性院	・不動堂　向拝の龍・木鼻獅子・向拝裏のあやめ・両脇の虹梁の波間に遊ぶ小鳥	南房総市安馬谷 935-1	1877（63）
㉖	愛宕神社	・大黒天立像、びんずる尊者像	南房総市千倉町川合 722-1	1828（14）
㉗	熊野神社	・懸魚、虹梁、木鼻	南房総市千倉町字田 956	
㉘	正福寺	・供養塔 <div>・仏像（釈迦像）</div>	南房総市千倉町瀬戸 2993-1	1898（54） <div>1900（86）</div>
㉙	西養寺	後藤義光の墓 <div>・客殿向拝玉取竜、獅子・石造地藏菩薩半跏像、反花座（かえりばなぎ）正面「牡丹」、基礎正面「獅子」、左面「波に宝珠」右面「波に亀」</div>	南房総市千倉町北朝夷 861	1844（30）
㉚	安房消防千倉分署裏公園	延命地藏尊（石工長狹郡宮野下村石渡紋三郎）	南房総市千倉町北朝夷 2830-2	1822（68）
㉛	住吉寺	・中嶋観音堂向拝竜、木鼻、手挟、持送り、支輪	南房総市千倉町南朝夷 1353	1884（70）

㉜	円蔵院	・供養塔 <div>・本堂欄間（王夫人と竜、牡丹に唐獅子、牡丹に子連れ獅子）<div>・大蔵経</div>・本堂扁額</div> ・仏像（釈迦像）	南房総市千倉町北朝夷 2393	1886（72） <div>1859（45）</div> <div>1885（71）</div> <div>1884（70）</div>
㉝	稲荷神社	・向拝竜、木鼻、頭貫	南房総市千倉町平館 598	1897（83）
㉞	徳蔵院	・扁額	南房総市千倉町平館 1062	1872（58）
㉟	荒磯魚見根神社	・向拝竜、木鼻、懸魚	南房総市千倉町忽戸 1042	
㊀	高塚不動尊	・奥の院　石造の獅子	南房総市千倉町大川 817	1879（65）
㊁	日枝神社	・向拝親子竜・木鼻（唐獅子）・手挟（たばさみ）一対麒麟と鳳凰・虹梁「波に千鳥」・支輪、持送り「波に鯉」、「波に亀」 <div>・扁額</div>	南房総市千倉町白間津 335	1887（73） <div>※勝海舟著</div>

※後藤利兵衛橋義光（ごとうりへえたちばなのよしみつ　文化11年1814年、現南房総市千倉町北朝夷生まれ）安房の代表的な宮彫り師で、安房地方の寺社や各地の神輿や山車・屋台に多くの作品を残している。義光は弟子の育成にも力を入れ、一門からは多くの腕のよい彫り物師を輩出した。文化 12(1815)年、南房総市千倉町北朝夷上人塚に生まれた義光は、晩年館山市下真倉に住み明治 35（1902）年に 88 歳で没した。

代表的な義光の作品は、鶴谷八幡宮（館山市）の拝殿向拝の格天井にある鏡天井の龍及び周囲 54 体の龍が組み込まれた「百態の龍」（館山市指定）や、西養寺（南房総市）の石造地藏菩薩半跏像（南房総市指定）など。

初代竹志伊八郎信由（波の伊八）作品

No	社寺名称	作品	住所	制作年(年齢)
1	鏡忍寺	・祖師堂　墓股 22 面 <div>・祖師堂　欄間三面「七福神」</div>	鴨川市広場 1413	1771（20） <div>1782（31）</div>
2	愛宕神社	・本殿彫刻	南房総市千倉町川合 722-1	1773（22）
3	下立松原神社 白幡神社	・本殿彫刻	南房総市千倉町牧田 193-1	1774（23）
4	金乗院	・仁王門の彫刻 <div>・大日如来堂向拝の「竜」・欄間「酒仙の図」</div>	鴨川市打墨 709	1775（24） <div>1779（28）</div>
5	大聖院	・本堂欄間三面「波に竜」「雲に麒麟」	南房総市千倉町大川 817	1775（24）
6	西福寺	・本堂欄間三面「波に竜」「七福神」ほか	鴨川市竹平 355	1777（26）
7	葉王院	・本堂欄間「竜虎の図」	鴨川市東斗 179-1	1780（29）
8	大行寺	・欄間「波に竜」	鋸南町保田 305	1782（31）
9	浅間神社	・本殿彫刻	南房総市千倉町瀬戸 1714	1783（32）
10	諏訪神社	・本殿彫刻	鴨川市横渚 812	1786（35）
11	吉保八幡神社	・本殿彫刻	鴨川市仲 253	1788（37）
12	宝珠院	・本堂欄間「梅に鳳凰」ほか	南房総市府中 387	1794（43）
13	大山寺	・不動堂彫刻「飛龍と地龍」	鴨川市平塚 1723	1803（52）
14	福聚院	・本堂欄間三面「波に竜」「波に犀」	南房総市市部 343-1	1806（57）
15	智蔵寺	・本堂欄間三面「波に竜」「波に飛竜」	南房総市山名 386	1806（57）
16	徳蔵院	・本堂向拝「波に竜」	南房総市千倉町平館 1062	1808（57）
17	瑞竜院	・欄間三面「波に竜」	館山市畑 409	1808（57）
18	石堂寺	・「波雲に鶴」ほか（平成大修理時に多宝塔から外された）	南房総市石堂 302	1791（40）

※武志伊八郎信由（たけしいはちろうのぶよし　通称：波の伊八、宝暦元年1751年、現鴨川市打墨生まれ）江戸時代中期には、建築様式として欄間を飾る彫刻が流行していた。多くの彫刻師が競うなか、「関東に行ったら波を彫るな」と言わしめた人物がいた。初代伊八こと、武志伊八郎信由である。

伊八は、安房国長狹郡下打墨村（現千葉県鴨川市打墨）で代々名主を務めた武志家の5代目として生まれたといわれている。10歳の時から彫刻を始め、躍動感と立体感溢れる横波を初めて彫り以来作風を確立し、同世代に活躍した葛飾北斎の「富嶽三十六景」の代表作の1つ、「神奈川沖浪裏」などの画風に強く影響を与えたといわれ、文政7年に没するまで意欲的に作品を造り続けた。その作風は、五代目伊八（高石伊八朗信月：明治23年-昭和29年）まで200年に亘って続き、房総南部を中心に神社や寺院の欄間彫刻などに秀れた作品を残した。（1824年文政7年73歳没）

躍動感と立体感あふれる代表作でいつでも見ることができる作品に、13 大山寺不動堂正面に「飛龍と地龍」2体がある。見る人の視線を考慮した造りは圧倒される迫力がある。